

江幡太穠先生選評



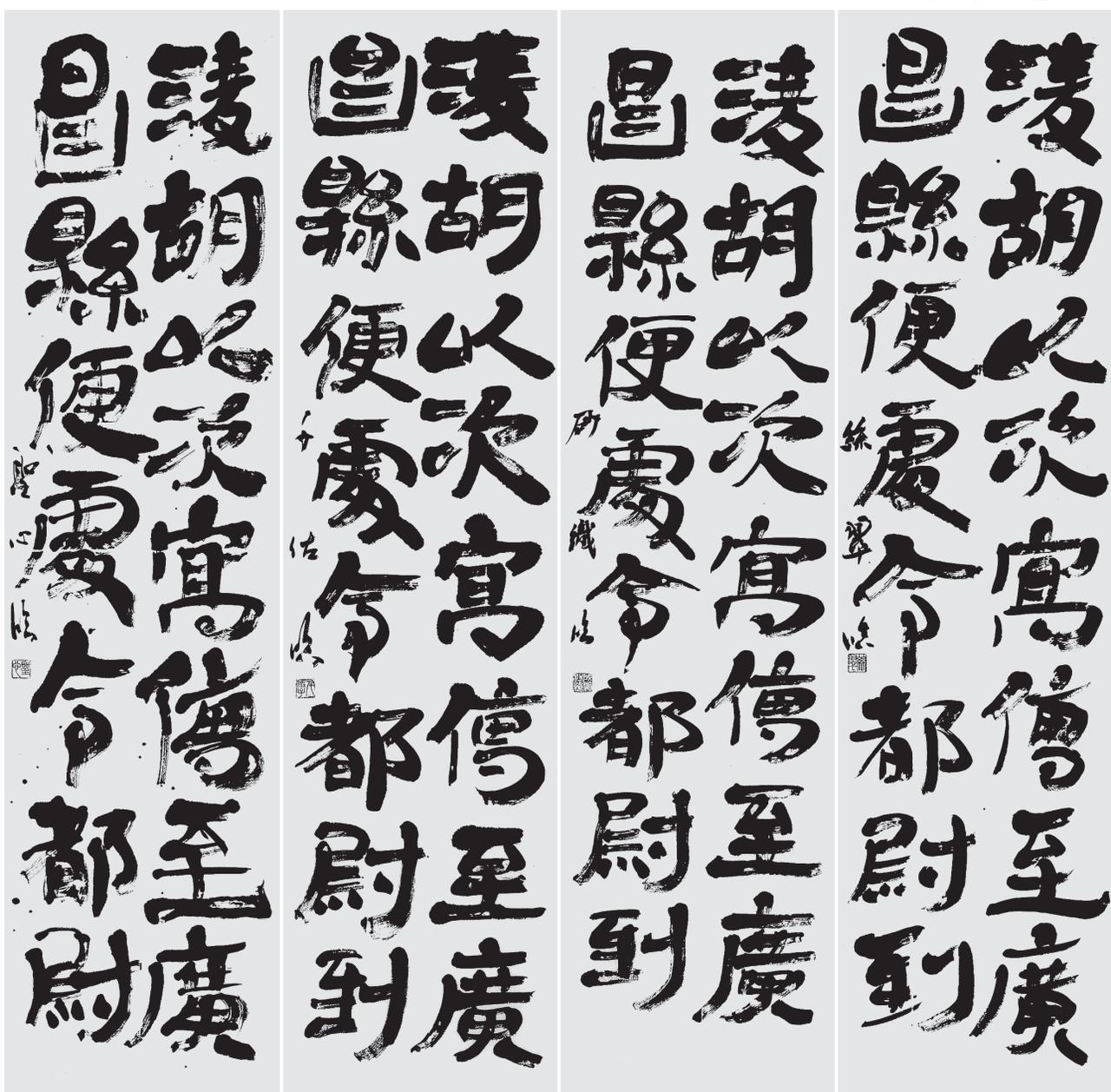
**荒木昌子** 推選  
墨量充分で大胆に元氣良く書けています。その分渴筆が少し足りなかったかな。線が明るく生き生きとしています。俳人名、お名前もこの調子で書きたかった。

**小林歌雲** 推選  
大胆な大小、潤濁、表情が面白い。動いています。一行ならではの為業ですね。「朧」の月偏読める様に。少し多墨だったかな？お名前左側少し空けたかった。

**仁木志香** 推選  
本来ならば「松」は渴筆、「花」で二回目の墨継ぎかと思われませんが、この渴筆の「花」の動き、表情が効いています。白の美しい優雅な作品になりました。

**阿南真由美** 推選  
何と言っても動き、リズムが素晴らしい。正々堂々と真正面から向き合い多種多様な線で攻め仮名も強く漢字と調和しています。「朧」の表情最高です。

葛西玄涛先生選評



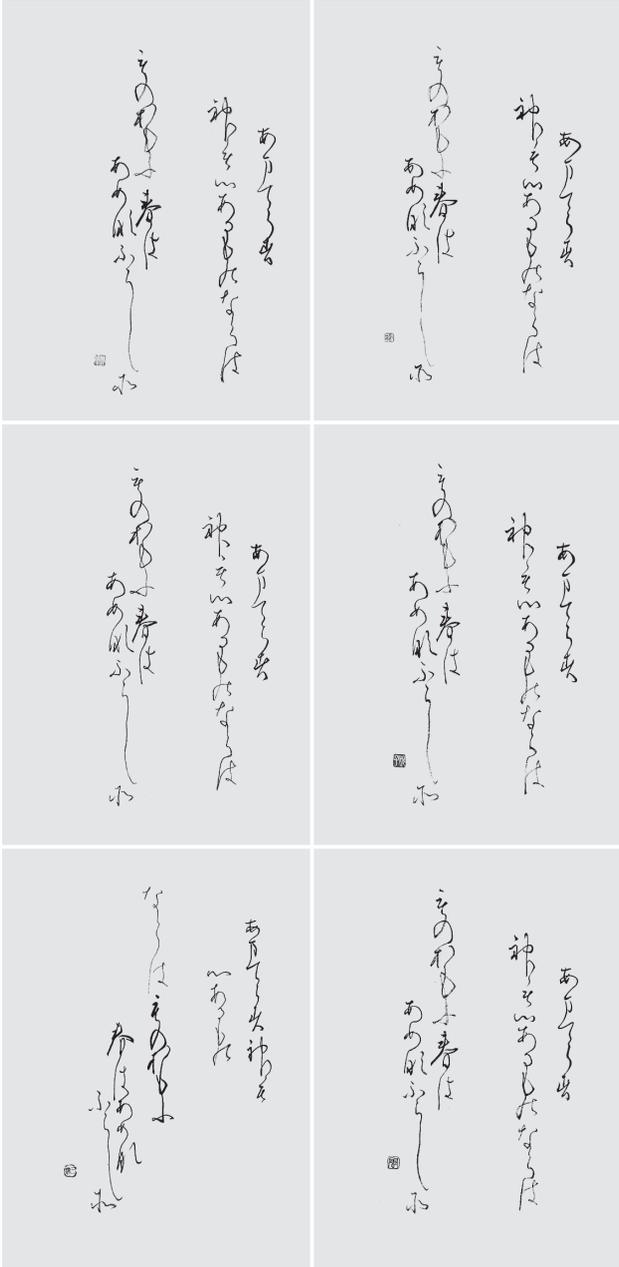
香川 絲翠 推選  
 軽やかな動きが、紙面にしっかりと反映されて、この漢簡を拡大すると、このような感じと思わせてくれます。太い線と細い線の混在が、適切で魅力をさらに増した。

成瀬 砂織 推選  
 紙面の上下左右に少し余白を作り、字間を適度にして、上品な空気に包まれていきます。太い線のゆったりした動きからのしつとり感は、お淑やかな風が吹いてくる。

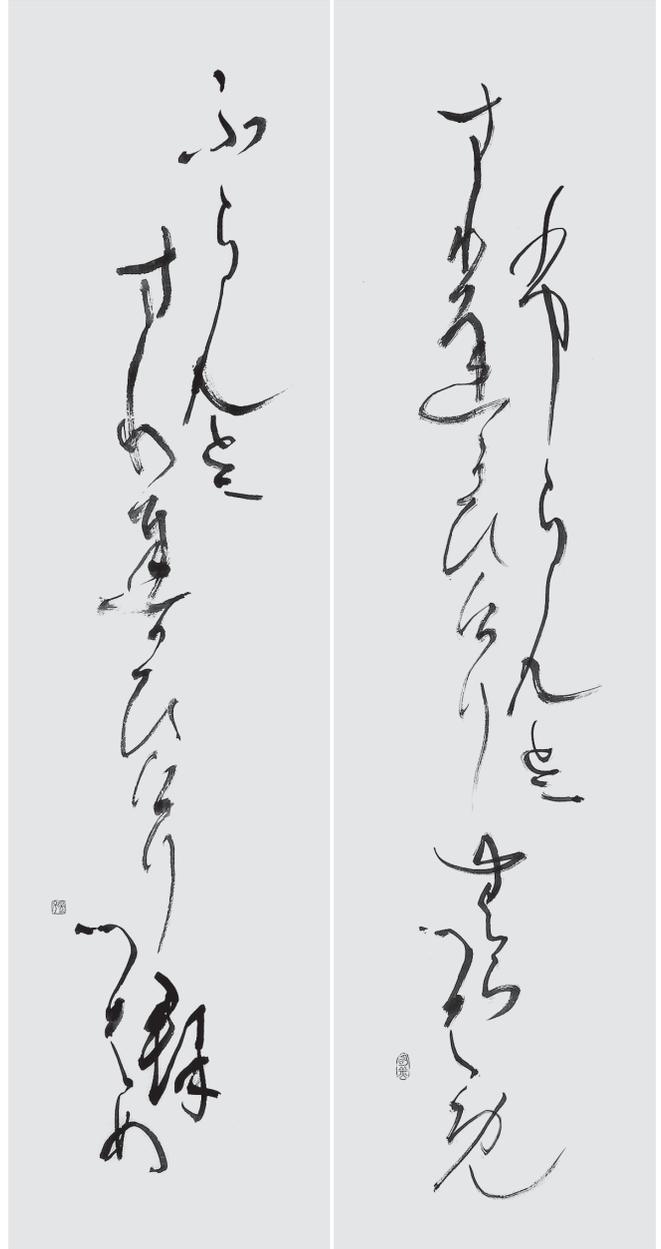
山口 千佐子 推選  
 少し遅めに線を引いて、墨が紙にしっかりと浸み込み、直筆の優しく円い線が多くなった。更に軽めの渴筆部分の楽しさが加わって、明らかで明るい魅力を深めた。

松下 聖心 推選  
 破裂したかのような活発な動きが表現されている。筆の上下動、左右への動きは、紙面が不足するほどで、なんだか嬉しくなります。展覧会制作の参考になります。

吉澤真理先生選評



赤富士北祭先生選評



**小川琴風** 八段  
柔らかく弾力ある筆線は厚みがあり丁寧な臨書されました。穂先を駆使して厳しさが加味されると、生き生きとして更に味わい深い。

**川畑彩春** 師範  
古典の特徴をよく捉え、自在な筆庄の変化が美しい墨色と文字の立体感を生みました。終句長い「し」の庄の変化見事です。

**石丸晶子** 準七  
墨色、墨量程良く快調な筆運びで好感の持てる作です。筆の浮き沈みのリズムが加わると原帖の趣が表現できるでしょう。印をお忘れなく。

**宮内悦子** 師範  
流麗な連綿線が自然に流れ、やさしい線質と相俟って趣ある優雅な作です。習練された字形と遅速の変化で生まれた潤濁は巧みで美しい。

**柿崎三津子** 五段  
原帖を土台として展開した独自の構成。古典から離れた字形もあります。が、伸びやかな運筆が心地よく意欲を感じます。後半の墨量を控えめに。

**村上春風** 準師  
筆力ある運筆。紙へのくい込み深くどっしりと落ち着きある作で存在感を發揮しました。全体的に更なる潤濁の変化で一段と表情豊かに。

**松下晃子** 推選  
書き進めながら、気持ちが高まり時折線がはじけながらも筆を開閉させてゆく姿に個性が感じられる。筆の上下動が強い線と躍動感を表現した魅力的な作。

**平川明美** 推選  
次々に追い込んでいくような筆の軌跡に新しいものが生まれ出るような可能性が見える。奔放に見えながら直筆を主体とした線に古筆をよく学んだ姿がある。

福田鷲峰先生選評



竹山青晨 七段  
張りのある表現が  
全体に通っており  
心地よい。スピ  
ド感溢れる書きぶ  
りが、一気に終り  
まで貫通。気力に  
満ちた出来となっ  
ている。

白澤里奈 師範  
墨の潤濁と筆の強  
弱を巧みに使い分  
けていて美しい雰  
囲気を醸し出して  
いる。しっかり字  
んできた証がここ  
に表現されたよう  
に思い第一位に。

亀卦川古萩 準七  
あまり細かい事を  
気にかけないで、  
堂々とした書きぶ  
りである。押印は  
少々雑であるが、  
落款そのものは上  
手い。もつと伸び  
ていきますよ。

吉田郁江 師範  
丁寧、堅実なる筆  
の運び。角度・空  
間の処理も実によ  
く行き届いている。  
無駄なものが全く  
なく、練質が良い  
のでスッキリとし  
て見える。秀作。

中島 泉 準五  
雰囲気としては、  
まろやかな温かさ  
のある書。筆の遣  
い方は伸びやかに  
かつ大らかに進ん  
でおり、ホツとし  
て感じる。特に  
「榮」はいいね。

宮内悦子 師範  
ビシッと緊張感を  
漂わせ、紙面にく  
い込んだ線の美し  
さはどうだろう。  
落款もビタリと決  
まっけて完成し  
ている。上々の出  
来といえる。

栗原久美子 準四  
一点一画をおろそ  
かにしないで丁寧  
に筆を進めていて  
好ましい。落款は  
少しだけ大きめ  
の方がいいかな。見  
ていて気持ち落  
ち着いてくる。

渡辺京子 準師  
雰囲気はやさしい  
のに、艶やかで伸  
び伸びとした美し  
い線で構成される。  
くつきりとした明  
るい表現になって  
いる。とても良い  
作となった。

田窪優子 四段  
「不宣」が少し弱  
いかな。しかし、  
大字には目を瞠る  
良さあり。芯の強  
さがある為、鋭さ  
のある出来となっ  
た。このまま腰を  
据えて頑張れ！

間宮聖香 八段  
いい出来。腕も確  
か。線の切れ味が  
抜群である。少し  
呼吸が短い気がす  
るが、いかが？押  
印が雑。この二つ  
が出来たらより素  
晴らしいね。

吉田久子 三段  
芯の強さをしっか  
りと持ちながら書  
かれていく。漢字  
は骨力。しっか  
りしている。この  
書きぶりでもどん  
どん腕を伸ばしてい  
ってほしい。

熊谷昌雪 準八  
余裕を持った線で  
楽に書けている。  
小さな所にも気が  
配られており破綻  
がない。楽しく書  
きながらも、とて  
も上品に仕上がっ  
ていて好感を持つ。